

(様式3)

自己評価及び外部評価結果

作成日 平成23年2月21日

【事業所概要（事業所記入）】

事業所番号	0870200862		
法人名	医療法人 祥仁会		
事業所名	グループホーム ハーモニー	ユニット名	1
所在地	〒319-1301 茨城県日立市十王町伊師3458-1		
自己評価作成日	平成22年8月27日	評価結果 市町村受理日	平成23年2月15日

※ 事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください。

基本情報	茨城県福祉サービス振興会のホームページ「介護サービス情報検索」から情報が得られます。
------	--

【評価機関概要（評価機関記入）】

評価機関名	社会福祉法人茨城県社会福祉協議会		
所在地	〒310-8586 水戸市千波町1918番地 茨城県総合福祉会館内		
訪問調査日	平成22年10月12日	評価確定日	平成23年2月2日

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点（事業所記入）】

クリニックと隣接しているので、急変時等があっても、医療スタッフが迅速に対応できます。隣接クリニックが透析施設の為、グループホームでは珍しく透析治療を受けている方でも入居できる。
--

【外部評価で確認した事業所の優れている点・工夫点（評価機関記入）】

利用者の殆どが、同一法人が運営する隣接のクリニックで透析治療を受けている。事業所職員はクリニックで透析対応の経験があり、利用者の安心に繋がっている。職員は利用者の体調に配慮しながら貼り絵やぬり絵、3B体操をしたり外出や外食が楽しめるよう支援している。

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
I 理念に基づく運営					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	常に理念を意識できるよう、施設名に掲示し、確認できるようにしている。	「利用者の立場に立ち、安心と尊厳のある生活を営むことができるように支援しています」との理念を玄関に掲示するとともに、職員は共有し実践に向けて取り組んでいるが、地域密着型サービスの意義を踏まえた理念とはなっていない。	全職員で話し合い、地域密着サービスの意義を踏まえた理念を作成することを期待する。
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	施設での行事があれば近隣住民に声をかけるようにしている。事業所としては地域の一員としてあまり交流していない。	近隣住民の方に事業所の納涼会への参加を呼びかけたり、月2回3B体操の講師を迎え体操を楽しんで、利用者が地域の人々と交流できるよう支援している。 利用者が地域の夏祭りに出かけられるよう支援し、地域の人々と交流する機会を設けている。	
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	特に活動していない。		
4	3	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	会議で出た意見や情報を活かしサービスの向上に努めている。	運営推進会議は市職員や地域代表者が参加し、2ヶ月に1回開催している。 会議では事業所から利用者の状況や季節行事、熱中症対策等を報告しているほか、委員から助言や意見を得てサービスの質の向上に活かしている。	

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
5	4	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くよう取り組んでいる	運営推進会議に参加してもらい、意見交換を行うなど、市主催の事業所懇談会などのも参加している。	管理者は市担当者に利用者の状況を報告したり、医療連携体制加算について相談をしているほか、スプリンクラー設置や熱中症対策など事業所の取組みを伝えたり、市主催の事業者懇談会や市のグループホーム連絡会に参加して市担当者と情報交換を行い協力関係を築いている。	
6	5	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	施設内は特に施錠はせず自由に入りが出来る状況。身体拘束もしない方針である。職員研修等はありません。	身体拘束防止マニュアルを作成し、全職員は身体拘束の弊害について理解するとともに職員会議で話し合い、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる。	
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	個々に意識し対応しているが、研修等はしていない。		
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	制度について学ぶ機会持てるようにしたい。そのため活用もしていない。		

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	十分な説明を行い理解、納得してもらえるように努めている。		
10	6	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	意見箱の設置や職員が聞いた意見などはスタッフ会議等で話し合うようにしている。	玄関に意見箱を設置するとともに、重要事項説明書に事業所の苦情相談受付窓口を明記し、契約時に利用者や家族等に説明しているが、第三者機関の苦情相談受付窓口を明記するまでには至っていない。 職員は利用者や家族等に声かけし、意見や要望が言い易いような雰囲気づくりに努めている。 「洗濯物は自分でたたみたい」 「職員の胸章を見易く大きくして欲しい」など、利用者から出た意見や要望を運営に反映させている。	重要事項説書に第三者機関の苦情相談受付窓口を明記するとともに、家族等が意見や要望を出せるようなアンケートを実施することを期待する。
11	7	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	スタッフ会議を行い職員の意見や提案を聞き反映できるように努めている。	管理者はミーティングや職員会議、懇談会を開催し、職員の意見や提案を聞く機会を設けている。 「利用者が自由に将棋や碁などを楽しめるよう、共用空間に椅子付こたつを設置したい」など、管理者は職員から出た意見等を運営に反映させている。	
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	個々の努力や実績、勤務状態をおおむね把握していると思う。意見、要望等ある場合は個々に話を聞いている。		

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
13		○職員を育てる取組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	計画性のある研修体制はとれていないが、機会があれば研修に参加できるようにしている。		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている	市の事業者懇談会等で若干の交流があるていど。		
II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	利用者様は設置法人が運営するクリニックに通院する患者であるため、利用前から相談や要望を聞く機会を作っている。また、ホーム内を見学したり、他の利用者様や職員と顔馴染なので利用はスムーズに開始されている。		
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	サービス利用を開始する段階で本人、家族によくお話を伺い、関係づくりに努めている。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	本人、家族の話をよく聞き本人に必要な支援ができるように努めている。		

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
18		○本人と共に過ごし支え合う関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	利用者ができることは、本人と協力し生活し、利用者との会話から色々教わるなどもある。		
19		○本人と共に支え合う家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	夏まつりやレクレーション時に家族にも声をかけて一緒に参加していただき、利用者様を支えている。		
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	家族の方に利用者様の友人や親類にも訪問していただけるよう協力してもらっている。また、面会時間を厳しくせず来られる時間帯に来所していただいている。	職員は利用者の友人や親類に面会に来てもらえるよう家族等に連絡を依頼し、関係が途切れないように支援しているほか、利用者が季節の行事や彼岸、お盆などに馴染みの場所に出かけられるよう、家族等に連絡を取っている。	
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	全体的にコミュニケーションがとれるよう、食事の時など席替えをしたり、利用者同士のお手伝いなどもしてもらっている。		
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	長期入院で一時退所しても、家族と連絡を取り合い相談や支援に努めている。		

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項目	自己評価		外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容	
Ⅲ その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント						
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	利用者が安心して過ごせるように、本人や家族等に希望を聞いたり、利用者の言葉や表情から思いや意向の把握に努めている。	職員は利用者一人ひとりの生活歴を参考に、言葉や表情から思いや意向の把握に努めるとともに、家族等の面会時には利用者と家族の会話に加わり話を聴くよう努めている。 思いを伝えられない利用者には表情や動きなどから思い汲み取り、希望にそった生活ができるよう取り組んでいる。		
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	家庭と同じ環境で過ごせるように本人や家族から話を聞いて生活歴や暮らし方の把握に努めている。また利用開始前の関係からも情報を得ている。	/		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	朝、夕の申し送りを十分に行い常に利用者様の現状を把握している。			
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	本人、看護スタッフ、介護スタッフと話し合い、日常生活の中で気付いた点や意見を出し、カンファレンスを行い作成している。また、家族面会時には家族の方とも話し合いをしている。			利用者や家族等の意向を第一に考え、必要な関係者と話し合い介護計画を作成するとともに、6ヶ月毎にモニタリングや評価を行い利用者の状況の変化に応じて随時見直している。

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	個別の記録簿を用意し、日々の生活状態の記録を行っており、情報源としている。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々にも生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	隣接のクリニックがあるので健康管理、病状変化にすぐ対応できる。		
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	特になし		
30	11	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	主治医のいるクリニックが隣接しているためすぐ対応できる。	利用者の殆どが同一法人が運営する隣接のクリニックで、透析治療を受けている。利用者や家族等の同意を得て、クリニックの医師がかかりつけ医となっている。協力歯科医が往診を行い利用者の状態を把握している。利用者が希望する整形外科や歯科の受診は、病院への送迎も含めて職員が支援している。	
31		○看護職員との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	申し送りノートなどで連絡、相談しながら、日々支援している。		

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	隣接クリニックと毎日連携をとっている。また、早期退院のため情報交換も密に行っている。		
33	12	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	医療連携の中に重度化した場合の指針を作り対応できるようにし、本人、家族が希望する場合はホームでの看取りも可能であることは家族に説明してある。	重度化した場合や看取りの対応マニュアルを作成するとともに、契約時に利用者や家族等に事業所の看取りの指針を説明し同意を得ている。重度化や終末期に向け利用者や家族等と早い段階から話し合い、関係者で方針の統一を図っている。	
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	看護師が常勤しており、急変時などはクリニックで対応できるように連携しているので初期段階で受診できる。特に訓練はしていない。		
35	13	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	定期的に避難訓練は実施しているが、地域との協力体制を築くまでには至っていない。	緊急連絡網を掲示するとともに、定期的に避難訓練を実施し通報手段や避難経路を確認したり、段差のある場所での避難訓練を行っている。緊急時の速やかな通報や安全な場所への避難方法など、訓練で明らかになった課題を記録している。夜間想定避難訓練を実施したり、避難訓練に近隣住民の参加を得るまでには至っていない。災害時に備え食糧や飲料水などを備蓄するまでには至っていない。	避難訓練に近隣住民の参加が得られるよう運営推進会議で働きかけ、災害時の協力体制を築くことが望まれる。夜間想定避難訓練を実施したり、災害時に備え食糧や飲料水、毛布などを備蓄することを期待する。

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	人生の先輩として尊重し、自尊心を傷つけないよう声かけに配慮した対応をしている。 トイレ、おむつの声かけなどにも注意している。	職員は人格の尊厳を第一に考え、利用者のプライバシーを損なわないよう、言葉かけや対応に配慮している。 職員は守秘義務について理解するとともに、利用者の書類は事務室の所定の場所に保管し、取り扱いには十分注意している。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	傾聴を心掛け可能な限り本人本位の生活が送れるよう支援している。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	利用者のペースで暮らせるよう見守りし、本人の希望に合わせて入浴等の時間なども変えている。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	本人に服を選んでもらっている。希望により、口紅、マニキュアをするときがある。		

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	食事作りは職員が行っているが、配膳準備、片づけを一緒に行っている。	椀や茶碗などは、利用者の好みの食器を使用し、利用者は箸を並べたりテーブル拭きなどを職員と一緒にしている。 利用者一人ひとりの病状に合わせて栄養管理された食事が、隣接のクリニックから配膳車で届けられる。 月、水、金曜日の透析日の昼食は、利用者はクリニックで弁当を食べている。 職員は利用者が食事を楽しめるよう、月1回、外食を支援している。	
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	栄養士と相談し、本人の意見も聞きながら支援している。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	食後、歯磨きをするよう声かけをし、夕食後入れ歯の洗浄を行っている。特に入れ歯の方は口腔内チェックを注意している。		
43	16	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている	食後のトイレの誘導や、時間毎の声掛けを実施しトイレでの排泄ができるようにしている。また、自分でトイレに行けない人も、トイレで排泄できるように支援している。	職員は排泄チェック表を作成し利用者の排泄パターンを把握するとともに、時間を見計って声かけし、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている。	

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	食事、おやつの食材に注意している。 体操、マッサージを行っている。 主治医に相談する。		
45	17	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援をしている	入浴は週3回ある程度決まった時間になっているが、希望により夜間入浴もできるようにしている。病状により入浴できない方は清拭を行っている。	入浴は週3回と決まっているが、利用者の体調に合わせてシャワー浴や清拭、足浴を支援している。 入浴を拒む利用者には担当者を代えて声かけしたり、時間を変更するなど臨機応変に対応している。	
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	体調などに合わせ、希望を取り入れながら支援している。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	看護師からの申し送りなどで全員での理解に努めている。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	希望に添えるよう話し合いをしながら、行事ごとなどに取り入れている。		

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
49	18	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	希望を取り入れ支援している。花見、遠足などに家族も参加してもらっているようにしている。	利用者はその日の体調に配慮しながら、事業所周辺や隣接する同一法人のクリニック周辺を散歩しているほか、自宅に出かけたり近隣のスーパーに買い物に出かけている。 職員は季節毎の外出を計画し、利用者が花見などに出かけられるように支援している。	
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	外出時などに簡単な買い物を行っている。		
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	希望に応じている。		
52	19	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激（音、光、色、広さ、温度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	季節の花を飾ったり、その時々に合わせて作品を作り掲示している。	居間から見える広大な田園風景は、四季折々の様子が感じられる。 畳コーナーには座卓を用意し、利用者が思い思いに寛げるように配慮している。 職員は利用者が制作した習字や季節の貼り絵、ぬり絵などを飾ったり季節毎の行事の写真を掲示するなど、季節感を取り入れて、利用者が楽しみながら居心地よく過ごせるように工夫している。	

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	自由に過ごせるよう対応している。		
54	20	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	使い慣れたものを持ち込んでもらい、自由に飾りつけなどしてもらっている。相談しながらベッドの位置なども変えている。	利用者は使い慣れた家具やテレビ、冷蔵庫、仏壇、インテリア小物を持ち込んだり、趣味を取り入れて居心地良く暮らせるように工夫している。	
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	建物内はバリアフリー、廊下の両側は手すりがあるなど安全な環境づくりの中で、自立した生活が送れるように工夫している。		

V アウトカム項目		
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23, 24, 25)	○ 1, ほぼ全ての利用者の 2, 利用者の2/3くらいの 3, 利用者の1/3くらいの 4, ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18, 38)	○ 1, 毎日ある 2, 数日に1回程度ある 3, たまにある 4, ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)	○ 1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3, 利用者の1/3くらいが 4, ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている (参考項目：36, 37)	○ 1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3, 利用者の1/3くらいが 4, ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目：49)	○ 1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3, 利用者の1/3くらいが 4, ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。 (参考項目：30, 31)	○ 1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3, 利用者の1/3くらいが 4, ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている。 (参考項目：28)	○ 1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3, 利用者の1/3くらいが 4, ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている。 (参考項目：9, 10, 19)	○ 1, ほぼ全ての家族と 2, 家族の2/3くらいと 3, 家族の1/3くらいと 4, ほとんどできていない

64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9, 10, 19)	1, ほぼ毎日のように 2, 数日に1回程度ある <input type="radio"/> 3, たまに 4, ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)	1, 大いに増えている 2, 少しずつ増えている <input type="radio"/> 3, あまり増えていない 4, 全くいない
66	職員は、生き活きと働いている。 (参考項目：11, 12)	1, ほぼ全ての職員が <input type="radio"/> 2, 職員の2/3くらいが 3, 職員の1/3くらいが 4, ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。	1, ほぼ全ての利用者が <input type="radio"/> 2, 利用者の2/3くらいが 3, 利用者の1/3くらいが 4, ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。	<input type="radio"/> 1, ほぼ全ての家族等が 2, 家族等の2/3くらいが 3, 家族等の1/3くらいが 4, ほとんどいない

(様式4)

目 標 達 成 計 画

事業所名 グループホーム ハーモニー

作成日 平成23年2月10日

【目標達成計画】

優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目 標	目標達成に向けた具体的な取組み内容	目標達成に要する期間
1	1	地域密着型サービスの意義を踏まえた理念の作成	意義を踏まえた上で、分かりやすい理念を作成する	常に意識できる理念を、職員と話し合い決め、職員会議等で確認できる場を持つ。	2か月
2	35	災害対策、地域との協力体制と備蓄品	運営推進会議を利用して協力の呼びかけ	備蓄品を早急に購入。運営推進会議で民生員等に協力してもらい協力体制を整える。	2か月
3	10	運営に関する家族等の意見の反映	直接言えない意見など意見箱やアンケートを協力してもらいより良いサービスにつなげる	職員で話し合い、簡単なアンケートを作成する。	3か月
4					
5					

注1) 項目番号欄には、自己評価項目の番号を記入すること。

注2) 項目数が足りない場合は、行を追加すること。